

カウイチとライブドア、livedoor Blog を活用した 『livedoor デパート』の口コミ・プロモーションを実施

『livedoor デパート』を企画・運営する株式会社カウイチ（本社：東京都港区 代表取締役社長：松浦義幹 以下、カウイチ）と株式会社ライブドア（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：出澤剛 以下、ライブドア）は、2008年8月13日（水）より、livedoor Blog を活用した『livedoor デパート』内の商品の口コミ・プロモーションを共同で実施いたします。

本プロモーションでは、『livedoor デパート』の各テナントで取り扱う商品を定期的に livedoor Blog のブロガーにモニタリングしてもらい、キャンペーンページ上で使用感や感想を紹介することでクチコミ情報を広げ、ユーザーの商品購入意欲を高める取り組みです。プロモーションにご協力いただける livedoor Blog のブロガーを『livedoor デパートプレミアム会員』と位置づけることで、会員を中心とした上質な口コミの広がりを狙います。なお、本プロモーションは2008年8月からスタートし、半年以上にわたって継続的に実施いたします。

カウイチでは、今後も付加価値を高めるサービスを提供し、ユーザー様及び出店するテナント様に満足していただける運営を目指してまいります。またライブドアでは、これまでに蓄積したノウハウを活用し、livedoor Blog を使ったブログマーケティングを積極的に進め、ブログの価値向上につとめてまいります。

■ livedoor デパート について : <http://depart.livedoor.com/>

R35 世代を主要なターゲット顧客層とするインターネット・ショッピングモールです。約 3000 の出店テナント、約 100 万点の販売アイテムを擁し、さらに姉妹サイト「買う市ショッピングモール」との連携などが特徴です。

■ livedoor デパートプレミアム会員 について

livedoor デパートの商品をモニタリングし、ブログにコメントする登録会員（ブロガー）です。あらかじめ登録された会員情報を参考に、モニタリング商品にあったブロガーを選抜します。なお、『livedoor デパートプレミアム会員』への応募は、livedoor Blog 管理画面やポータルサイト「livedoor」トップページから随時、登録が可能です。

■ 関連 URL

キャンペーンページ : http://blog.livedoor.com/campaign/blogger_relations/depart/
livedoor デパート : <http://depart.livedoor.com/>
livedoor Blog : <http://blog.livedoor.com/>

<本件に関するお問い合わせ先>

◆ 株式会社カウイチ 担当：林 奈穂子（はやし なほこ）
TEL:03-6253-7030 FAX:03-3571-5561 pr@caul.net

◆ 株式会社ライブドア 広報グループ 南郷あかり（なんごう あかり）
TEL:03-5155-0121 FAX:03-5155-0101 press@livedoor.jp

■ プロモーションの概要について

モニターを希望する livedoor Blog のブロガーは、まず無料の『livedoor デパートプレミアム会員』に登録していただきます。次に、プレミアム会員の中から、モニター商品ごとに設定された条件にマッチするブロガーを選び、ユーザーのブログ上に商品の使用感や感想を投稿していただきます。投稿されたコメントはキャンペーンページに随時反映され、口コミ情報をまとめて読むことができる上、キャンペーンページ経由で直接商品を購入することもできます。

■ 株式会社 カウイチについて：<http://corp.cau1.com/>

モールショッピング事業と、書籍を中心とした直販サービス事業を展開し、ネットショッピングサービスにおいて、業界基準以上のサービスはもとより、付加価値の高い新たなサービスを構築し、お客様や出店テナント様に、常にご満足いただけるサービスをご提供しています。

■ 株式会社ライブドアについて：<http://corp.livedoor.com/>

株式会社ライブドアは、ユニークユーザー数 1800 万人超を誇る日本有数のポータルサイト「livedoor」の運営を軸に、開設者数約 260 万人(2008 年 7 月末現在)のブロガーが国内最強の情報発信力を発揮するユーザー参加型メディアです。また、巨大ポータルサイトやネットワークを安定稼働させるノウハウや実績をもとに、フルマネージドホスティングを中核とした法人向けデータセンター事業を運営し、「デジタルネイティブ世代」のメディアとして今後も一層の飛躍を目指します。